

生きる

むせかえる夏草の中
降り止まぬ蝉しぐれ

汗をたくさんかくせい

私の中を流れる血の朱はさらに濃く

生きている実感が

生かされている奇跡が

生きなければならぬ運命が

生きたいという執念が

ごちゃ混ぜに身体中駆け巡る

叫び出したい衝動をなんとかおさえ

深呼吸してなお

手に負えぬ感情を持って余し

私はでも生きている

こうしてただ生きていくしかない

加藤恵